チューター推薦書

令和　　年　　月　　日

学　　　長　　　殿

【推薦教員】

所属

氏名 （押印省略）

下記のとおりチューターを推薦します。ご承認くださるようお願いいたします。

記

実施期間：　　　　　年度　前期　・　後期

総時間数：　　　　　時間

１．支援対象の外国人留学生

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 留学生氏名 | 所属 | 学籍番号 | 支援種別（支援上限時間）※支援時間は半期分 |
|  | 学部・学府・研究科専攻・学科研究生・B・M・D　　年次 |  | [ ] 新規渡日者生活支援（15時間）[ ] 学部生支援（40時間）[ ] 大学院生支援（20時間）[ ] 国費研究生支援（20時間） |
| [ ] 上記支援終了後の継続支援（20時間）[ ] その他→これらの場合、理由書（裏面）ご記入ください |

２．チューターとして推薦する学生

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| チューター学生氏名 | 学部・学府※農工大所属ではない場合のみ大学名称も記入 | 学籍番号 | 携帯電話番号 | メールアドレス |
|  | 学部・学府・研究科 |  |  |  |
| **※以下、ご確認の上チェックボックスにチェックをお願いします。**担当留学生との連絡のため、上記学生のメールアドレスを担当留学生に知らせる場合があります。（携帯電話番号は、事務局からの連絡用にのみ使用致します。留学生には共有しません。）[ ] 　このことについて本人の了承を得ました。 |

|  |
| --- |
| チューター支援には下記区分がありますが、**④の継続支援を希望する場合または該当するものがない場合は、理由書にご記入の上ご提出ください。理由書を基に認められた場合のみ、チューターが配置されます。**（①～③に該当する場合は、理由書のご記入は不要です。）① 新規渡日者の生活支援　（原則渡日後1ヶ月、支援時間15時間まで）② 学部生支援　（入学後１年間、支援時間80時間　※前期・後期それぞれ40時間まで）③ 大学院生支援　（渡日後半年間、支援時間20時間まで）④ 国費研究生支援　（渡日後半年間、支援時間20時間まで）**⑤ 学部・大学院留学生への継続支援　（①〜③対象外の留学生、支援時間半期あたり20時間まで）** |

理由書

指導教員：

[ ] 外部資金で支援財源が措置されているため

事業名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：JICA研修員事業）

[ ] その他　（ワークスタディ予算を [ ] 使用する [ ] 使用しない）

下記留学生については、通常のチューター支援対象外ですが、以下理由により追加のチューター支援が必要な状況です。

チューター配置を必要とする留学生

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 留学生氏名 | 所属 | 学籍番号 |
|  | 学部・学府・研究科専攻・学科研究生・B・M・D　　年次 |  |
|